

様式3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数							非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数			
保健医療学部 理学療法学科	5人	2人	6人	5人	18人	人	17人	0人	0人	10.3人
計	5人	2人	6人	5人	18人	人	17人	0人	0人	—

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
基礎	科学的思考の基盤	物理学	15	赤羽明	兼任
		物理学実験	23	向田寿光	兼任
		化学	15	村上元	兼任
		細胞生物学	15	大間陽子	兼任
		情報科学演習	15	是村利幸	兼任
		教育基礎セミナー	15	高倉保幸	専任
	人間と生活	英語Ⅰ	15	間山伸	兼任
		英語Ⅱ	15	間山伸	兼任
		ドイツ語	15	田中一嘉	兼任
		社会学	15	小川祐子	兼任
		哲学	15	ジリオ インマヌエル・ダビ デ	兼任
		スポーツ科学	15	古泉一久	兼任
	社会の理解	社会の理解	15	嶋崎晴雄	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造と機能演習Ⅰ（構造系）	15	時田幸之輔	専任
		人体の構造と機能演習Ⅰ（機能系）	15	藤原智徳	兼任
		人体の構造と機能演習Ⅱ（構造系）	30	時田幸之輔	専任
		人体の構造と機能演習Ⅱ（機能系）	15	藤原智徳	兼任
		人体の構造と機能実習（構造）	45	時田幸之輔	専任

		系)			
		人体の構造と機能実習（構造系）	23	藤原智徳	兼任
		運動学	15	澤田豊	専任
		運動学演習	30	赤坂清和	専任
		運動学実習	23	藤田博暁	専任
		人間発達学	15	金井欣秀	専任
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理・微生物学演習	15	佐藤正夫	兼任
		ヒトの病気Ⅰ	15	加藤木利行	兼任
		ヒトの病気Ⅱ	15	加藤木利行	兼任
		ヒトの病気Ⅲ	15	加藤木利行	兼任
		ヒトの病気Ⅳ	15	加藤木利行	兼任
		ヒトの病気Ⅴ	15	加藤木利行	兼任
		骨・関節疾患総論	15	宮島剛	兼任
		骨・関節疾患各論	15	宮島剛	兼任
		ヒトの病気Ⅵ	15	加藤木利行	兼任
		ヒトの病気Ⅶ	15	加藤木利行	兼任
		精神疾患	15	松岡孝裕	兼任
		医療の基本Ⅰ	15	池田将樹	専任
		医療の基本Ⅱ	15	辻美隆	兼任
		臨床心理学演習	15	庄野伸幸	兼任
	栄養学	8	伴場裕巳	兼任	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	15	池田将樹	専任
		公衆衛生学	15	野寺誠	兼任
		保健医療福祉学	15	大久保雄	専任
専門分野	基礎理学療法学	理学療法学概論	30	乙戸崇寛	専任
		理学療法研究法	15	高倉保幸	専任
		臨床運動学	15	澤田豊	専任
	理学療法管理学	理学療法管理学	15	國澤洋介	専任
	理学療法評価学	理学療法評価学入門	30	新井智之	専任
		理学療法評価学Ⅰ	30	新井智之	専任
		理学療法評価学Ⅱ	30	新井智之	専任
		理学療法評価学Ⅲ（来年度から開講）	30	新井智之	専任

	理学療法治療学	筋骨格理学療法 学演習Ⅰ	30	赤坂清和	専任
		神経筋理学療法 学演習	30	小関要作	専任
		中枢神経理学療法 学演習Ⅰ	30	高倉保幸	専任
		呼吸循環理学療法 学演習	30	藤田博暁	専任
		物理療法学演習	30	大久保雄	専任
		理学療法臨床入門	30	高倉保幸	専任
		日常生活活動学 演習	30	金井欣秀	専任
		義肢装具学演習	30	小関要作	専任
		筋骨格理学療法 学演習Ⅱ	30	赤坂清和	専任
		中枢神経理学療法 学Ⅱ	30	師岡祐輔	専任
		理学療法機器技術学	8	大久保雄	専任
		リハビリテーション 工学	8	藤田博暁	専任
		がん理学療法学	8	高倉保幸	専任
		運動療法学	8	高倉保幸	専任
		代謝理学療法学	8	藤田博暁	専任
		スポーツ系理学 療法学	8	赤坂清和	専任
		予防理学療法学 (来年度から開講)	15	藤田博暁	専任
		保健科学統計学 演習	15	高倉保幸	専任
		発達理学療法学 演習Ⅰ	15	金井欣秀	専任
		発達理学療法学 演習Ⅱ	15	金井欣秀	専任
	地域理学療法学	地域理学療法学 実習	8	藤田博暁	専任
		生活環境学	15	藤田博暁	専任
	臨床実習	臨床見学実習	22.5	國澤洋介	専任
		検査・測定臨床 実習	22.5	國澤洋介	専任
		地域理学療法臨 床実習	22.5	國澤洋介	専任
		総合臨床実習Ⅰ	90	國澤洋介	専任
総合臨床実習Ⅱ		135	國澤洋介	専任	
総合臨床実習Ⅲ		157.5	國澤洋介	専任	
理学療法研究セミナー	理学療法研究セ ミナー	90	高倉保幸	専任	

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 5-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

- 基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
臨床実習の見学・体験	1 年後期	教育基礎セミナー	1 年前期
		社会の理解	1 年前期
		人体の構造と機能演習 I (構造系)	1 年前期
		人体の構造と機能演習 I (機能系)	1 年前期
		人体の構造と機能演習 II (構造系)	1 年後期
		人体の構造と機能演習 II (機能系)	1 年後期
		運動学	1 年後期
		人間発達学	1 年後期
		リハビリテーション医学	1 年後期
		理学療法学概論	1 年前期・後期
		理学療法評価学入門	1 年後期
理学療法評価の体験	2年前期	理学療法学概論	1 年前期・後期
		理学療法評価学入門	1 年後期
		運動学演習	2 年前期
		医療の基本 I	2 年前期
		理学療法評価学 I	2 年前期
理学療法の実践	3年前期 4年前期	理学療法評価学 I	2 年前期
		理学療法評価学 II	2 年後期
		日常生活活動学演習	2 年後期
		筋骨格理学療法学演習 I	3 年前期
		神経筋理学療法学演習	3 年前期
		中枢神経理学療法学演習 I	3 年前期
		呼吸循環理学療法学演習	3 年前期
		理学療法臨床入門	3 年前期
		発達理学療法学演習 I	3 年前期
		運動学実習	3 年後期
		義肢装具学演習	3 年後期
		筋骨格理学療法学演習 II	3 年後期
		中枢神経理学療法学 II	3 年後期
発達理学療法学演習 II	3 年後期		

地域理学療法の実践	4 年後期	理学療法評価学 I	2 年前期
		理学療法評価学 II	2 年後期
		日常生活活動学演習	2 年後期
		筋骨格理学療法学演習 I	3 年前期
		神経筋理学療法学演習	3 年前期
		中枢神経理学療法学演習 I	3 年前期
		呼吸循環理学療法学演習	3 年前期
		理学療法臨床入門	3 年前期
		運動学実習	3 年後期
		義肢装具学演習	3 年後期
		筋骨格理学療法学演習 II	3 年後期
		中枢神経理学療法学 II	3 年後期
		地域理学療法学	3 年後期
		生活環境学	2 年後期

【自己評価 3-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	保健医療学部自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	加藤木利行
組織の開催頻度	1年に6度
組織の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生による授業評価の分析
	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員の教育業績評価の分析
	<ul style="list-style-type: none"> ● AP・CP・DPの検討
自己点検・評価結果の公表	大学HPで公表（URL： http://www.saitama-med.ac.jp/koukai.html ） 学生による授業評価結果（URL： http://www.saitama-med.ac.jp/koukai/k2-8h.pdf?230106 ）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	学務委員会 シラバス第三者チェック
	委員構成等	学科長、理学療法学科専任および兼任教員、教務課事務員
	改善の仕組みの実際	シラバス内容について科目責任者以外の教員と教務課事務員による確認、学科長による最終確認を行い、必要に応じて記載内容を修正

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

2020年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、2021年3月16日付で「大学評価基準に適合している」と認定された。
(<http://www.saitama-med.ac.jp/smu/R2evaluationResultSMS.pdf>)